

認定 NPO 法人

多文化共生教育ネットワークかながわ(ME-net)とは

外国につながる子どもたちの教育を支援し、その子どもたちと周囲の方々が共に生きられる社会を実現するという理念のもと活動しています。彼らが日本社会で育つ中で、制度や環境の違いによって不利益を被ることのないよう社会の課題を明確にし、その解決をめざすべく多角的に事業を展開しています。

当団体は、神奈川県教育委員会との協働事業(高校進学ガイダンス、ネットワーク会議、多文化教育コーディネーター派遣)をはじめとして、県内の市町村教育委員会やかながわ国際交流財団、横浜市国際交流協会、川崎市国際交流協会など、さらには多くの NPO 団体と広く連携し課題解決に向けて協力し合う関係を構築しています。

近年、貧困問題が話題になっていますが、「多文化家族」も例外ではありません。特に福祉の目からこぼれ落ちる可能性のある多文化家族の支援を県内外の組織と連携して行っています。

ME-net のあゆみ

- 1995 年 ・ME-net の前身となる「ガイダンス実行委員会」主催の「第 1 回高校進学ガイダンス」実施
- 1998 年 ・「多文化共生教育ネットワークかながわ(略称 ME-net)」の活動開始
- 2003 年 ・かながわ外国人教育相談事業開始
・安藤為次教育文化活動記念賞受賞
- 2006 年 ・外国につながる子どもへの教育・進路サポート事業開始
- 2007 年 ・多文化教育コーディネーター事業開始
- 2008 年 ・若者交流事業開始
- 2009 年 ・たぶんかフリースクールよこはま開校
・多文化学習活動センター(CEMLA)スタート
・「生活クラブ生協・神奈川」の「かながわ若者生き生き大賞」受賞(本団体スタッフ)
- 2011 年 ・NPO 法人として横浜市に登記
- 2012 年 ・横浜弁護士会「人権賞」受賞
- 2015 年 ・第 8 回(公財)かめのり財団「かめのり賞」受賞
・翻訳委託事業開始
- 2017 年 ・県指定 NPO 法人に指定
- 2019 年 ・認定 NPO 法人に認定



■事務局■

〒247-0007

神奈川県横浜市栄区小菅ヶ谷 1 丁目 2 番 1 号

地球市民かながわプラザ(あーすぷらざ)

NPO などのための事務室内

☎ 045-896-0015

(電話対応:月・水・金 10 時~17 時)

✉ info@me-net.or.jp

💻 <https://me-net.or.jp/>

📘 www.facebook.com/officemenet



ME-net

認定 NPO 法人

多文化共生教育

ネットワークかながわ

Multicultural Education Network Kanagawa

(Ver. 2022.05)

ME-net の活動内容



高校進学ガイダンス

1995 年に全国に先駆け実施した事業。現在では約 20 都府県で開催されている。高校進学を希望する若者及びその家族にとって、入試制度や学費のこと、高校の選択などわかりにくい内容を、通訳を介して説明を受けられる貴重な機会である。神奈川県は外国につながる子どもの高校進学に関して、全国でも有数の高い実績を上げている。



公立高校入学のためのガイドブック

2006 年よりスタート。高校の種類、入試制度、学費などの高校入試に関する情報を多言語(10 言語)に翻訳、冊子化し、神奈川県内の全公立中学校や公共施設等に配付している。

また、ME-net の Web サイト「ガイダンス特設ページ」で高校入試に関する多言語情報を提供している(日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、韓国朝鮮語、タイ語、カンボジア語、バングラデシュ語、ベトナム語)。



かながわ外国人教育相談

2003 年よりスタート。外国につながる子どもの教育に関する相談は多種多様で、かつ通訳を要するケースが多い。相談内容は、在留資格、日本語の習得、学校でのトラブル、進学相談、発達の課題等。教育関係者が相談員として対応しており、専門的な相談の場として機能している。



たぶんかフリースクールよこはま

2009 年開校。学齢超過のために中学に入れない、母国または海外で中学を卒業しているが、日本の高校受験に向けて学ぶところがない、という子どもたちに日本語・国語・数学・英語の授業を行っている。フリースクールで学んだ若者の 90%以上は高校進学を果たしている。



多文化学習活動センター(CEMLA)

学習支援教室・教育相談・情報提供を 3 つの柱として、県立相模原弥栄高校や相模女子大学他と協働で毎週土曜日に相模女子大学の構内で活動している。学習支援教室では日本語教育指導者や相模女子大学をはじめとする様々な大学の学生たちがボランティアとして参加している。2010 年度からの 9 年間は文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業により実施、また 2018 年度からは神奈川県教育委員会との協働で実施している。



多文化教育コーディネーター

ME-net が日本語教育の専門知識や地域での支援経験、人的ネットワークをもった多文化教育コーディネーターを推薦し、県立高校と協力してサポーターを配置するなど、外国につながる生徒が必要とする支援を計画・実行する事業である。



若者交流

日本社会で孤立しがちな外国につながる若者の交流の場として、交流会、キャンプ、フェスタの 3 イベントを毎年実施している。交流事業を通して、当事者自身が互いにつながることで、自ら発信すること、日本社会で生きるエネルギーを持つことができ、その効果は大きい。



県川教室

2020 年度より県教育委員会の委託事業として、県立川崎高校で毎週土曜日に日本語や教科学習の支援教室を実施している。対象者は川崎・横浜北東地区の県立高校(31 校)の日本語指導が必要な高校生。

日本語教師等の日本語スタッフ 5 名の他、多数の大学生も参加し、キャリア相談も実施している。3 月には高校入学前の高校生向けのプレスクールを 10 日間実施している。



愛川教室

2019 年度より県厚木保健福祉事務所の「生活困窮家庭の子ども向けの居場所・学習教室」委託事業として、愛川町の公民館で実施している。参加者は小・中・高校生 10 数名。日本人家庭の子どもの他、ブラジルやドミニカなどの南米の子どもが多い。自主性を尊重し、子どもたちの活動を大学生などのスタッフが温かいまなざしで支えている。



定時制高校でのキャリア支援

2021 年度は外国につながる生徒が多数在籍する相模向陽館高校において、居場所相談カフェ(食糧支援)やキャリア支援を行ってきた。対象は全校生徒。卒業後も若者サポートステーション(就労支援機関)など社会資源につなげるプラットホームの役割も担っている。



講師派遣・講座委託

高校での人権研修や在留資格に関する研修、大学や国際交流団体での多文化共生に関する研修など、年間約 30 回講師派遣している。<2021 年度 講師派遣の例>

- 日立財団多文化共生社会の構築シンポジウム「外国につながるの高校生たちの『活躍する力』を拓く」
- 県立高校『在留資格学習会』
- 国立大学『外国にルーツを持つ人たちの教育と就労について』
- 大阪府教育委員会主催の研修会『外国にルーツを持つ子どもの教育課題と効果的な支援について』



翻訳委託事業

外国につながる生徒に関係のある諸制度の手続きについて多言語版資料を作成している(就学支援金、奨学給付金 他)。文部科学省や神奈川県教育委員会の Web サイトでも公開されている。



その他の事業

フォーラムや各種相談会(進路・在留資格)などイベント企画実施、実態調査、分析他



主な発行物

- 多文化家族支援外国につながる子ども白書 2018 年 3 月発行(独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業)
- 多文化家族支援相談事例集 2017 年 3 月発行(独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業)
- 神奈川県の「公立高校入学のためのガイドブック」(多言語版・2006 年より毎年発行)等 詳細は HP をご覧ください。

■ 会 員 ■

ME-net では年間を通じて会員を募集しています。ME-net の活動は皆様の会費によって支えられています。外国につながる子どもたち・若者たちの無限に広がる未来と一緒にサポートしませんか？

年会費：正 会 員	6,000 円
賛助会員(一口)	3,000 円～ 何口でも
団体会員(一口)	10,000 円～ 何口でも

入会ご希望の方は、事務局宛にメール(info@me-net.or.jp)もしくはお電話(045-896-0015)でご連絡ください。入会の手続き・会費のお支払い方法についてご案内致します。

■ 寄附のお願い ■

当団体の活動にご賛同いただける方からの心温かい寄附を募っています。ご寄附を頂ける場合は、お手数ですが、お名前とご連絡先を事務局までお知らせください(寄附金控除を受けられます)。

「横浜銀行」

支 店 名:本店営業部

口座番号:(普)6039226

口座名義:エヌビィーオー・ホウジ・ソフ・ンカキョウセイキョウイクネットワークカナガワ

「ゆうちょ銀行」

加入者名:多文化共生教育ネットワークかながわ

口座番号:(振替)00210-5-124673